

## 第92回総合計画審議会計画推進評価部会 委員意見

分野	委員	主な社会環境の変化
(1) エネルギー・環境	伊達委員	地球環境の変化への対応は、例えばE S Gスコアのように、県や企業、団体、個人の活動を評価しながら今後の方向性を検討していくことが重要です。
(1) エネルギー・環境	原嶋委員	再生可能エネルギーは、地域によってポテンシャルが大きく異なるため、地域政策圏ごとのポテンシャルを踏まえる必要があります。
(2) 安全・安心	小池委員	新興感染症への対応は、行政と医療機関等の連携だけでなく、住民・企業・専門家など多くのステークホルダーが情報を共有し、様々なリスクに対して何をしなければいけないのか、リスクコミュニケーションを形成していく必要があります。
(2) 安全・安心	伊達委員	新興感染症への対応は、科学的アプローチによってそれまでの常識が変わる可能性があることから、随時新しい情報を考察し、アップデートしていく必要があります。
(2) 安全・安心	堀越委員	新興感染症への対応における病床や人手の確保について、感染者が多いときは多く必要になる一方、感染者がいなくなると全て不要になるという緊急性・柔軟性の高い臨機応変な対応ができるよう、県がイニシアティブをもって神奈川県地勢・状況に合った体制づくりを検討する必要があります。
(2) 安全・安心	山本委員	災害時の復興作業における地元の建設事業者の重要性を踏まえ、一緒に地域のインフラを守っていくという視点を盛り込む必要があります。
(2) 安全・安心 (3) 産業・労働	海津委員	観光産業に関しては、新興感染症だけでなく、自然災害への対応も図っていく必要があります。
(2) 安全・安心 (7) 県土・まちづくり	海津委員	災害に強い強靱な地域をつくる上で、事前復興やグリーンインフラの視点も踏まえる必要があります。
(3) 産業・労働	内田委員	日本とドイツの中小企業を比較すると、ドイツの経営者は積極的にチャレンジしていく精神があります。日本の中小企業も、単に大企業の下請けとなるのではなく、自立していくことが重要であり、そのための支援が必要です。
(3) 産業・労働	河野委員	ベンチャー企業のスピード感や自己効力感がもたらす刺激を地域のイノベーションにつなげていくことが重要であることから、そうしたイノベーションが連続して起きていくようなエコシステムの形成を支援していくことが必要です。
(3) 産業・労働	内田委員 外山委員 山本委員	中小企業の後継者のマッチングなど、喫緊の課題である事業承継も支援していく必要があります。
(3) 産業・労働	外山委員	国家戦略特区をはじめとする特区制度も引き続き活用する必要があります。
(3) 産業・労働	小池委員	学び直しは、場の提供だけでなく、実際に学び直しの場にアクセスし、やり遂げられるような支援が必要です。
(3) 産業・労働	朱委員	コロナ下でインバウンドが停滞している間に、今後、訪日観光客が再び増えたときにコミュニケーションエラーが起きないように、海外に向けて日本の良さをアピールしていくことが重要です。
(3) 産業・労働	山本委員	神奈川には、寄木細工や鎌倉彫など伝統工芸が根付いているため、こうした地場産業や伝統産業と観光を結び付けて、魅力を一層発信していく必要があります。

分野	委員	主な社会環境の変化
(4) 健康・福祉	小池委員	人生100年時代を迎え、未病や健康増進がますます重要になっています。健康経営をキーワードとして、労働環境の改善を促進するとともに、企業・職場全体で、社員やそこに関わる全ての方が健康でいられるよう、個人に働きかけていく必要があります。また、健康な方が多い地域の特徴を捉え、身体を動かす場（公園等）の充実など、地域レベルで健康につながる環境づくりを進めていく必要があります。
(4) 健康・福祉	堀越委員	「ア 持続可能な医療・介護の基盤の構築」は、デジタルや施設運営の効率化、人材確保・育成を列挙するだけでなく、更に踏み込んだ記載にする必要があります。
(4) 健康・福祉	堀越委員	「ウ 障がい者の社会参加に向けた様々な障壁（バリア）の解消」は、農福連携やデジタル化、ロボティクスの記載に唐突感があるため、課題を列挙するだけでなく、大きな課題に集約されるような記載にする必要があります。
(4) 健康・福祉	米田委員	孤立やコミュニティづくりについて、福祉分野の課題として顕著なものです。「(7) 県土・まちづくり」エの再掲でもよいので、「(4) 健康・福祉」でも少し言及しておく必要があります。
(4) 健康・福祉 (5) 教育・子育て	矢島委員 角井委員	便利な社会が子どもたちへの身体に悪影響を与える中、普通の子どもたちに生活習慣を整えることの大切さやその方法を教育の中で支援していく必要があります。
(4) 健康・福祉 (5) 教育・子育て	山本委員	「ヤングケアラー」について、福祉や教育にまたがる問題として対処していく必要があります。
(5) 教育・子育て	矢島委員 米田委員	「イ 子どもたちが地域で健やかに成長し、誰一人取り残されない社会の実現」は、「家庭環境等に関わらず」とありますが、ひとり親世帯をはじめ、食費が足りないというレベルの貧困や社会的つながりを持たないレベルの子どもたちへの支援についても、記載する必要があります。
(6) 県民生活	朱委員	マイノリティへの差別を解消していく上では、差別を受けた側は差別した側よりも問題意識を持っていることから、弱い立場の人の側に立って課題を検証していくことが重要です。
(6) 県民生活	矢島委員	「ア 男女が共に仕事と家庭を両立し、男女格差のない社会（ジェンダー平等）の実現」は、男性による子育て・介護といった家庭内での性別役割分担の解消にも触れる必要があります。
(6) 県民生活	矢島委員	「イ 多様な人々が安心して暮らし、また多様性が地域の強みともなる社会の実現」は、ジェンダーのことも含めて記載する必要があります。
(6) 県民生活	矢島委員	「学び直し」は仕事に関するだけでなく、社会課題について県民に学んでもらうことも記載する必要があります。
(6) 県民生活	米田委員	近年、自殺者は減少傾向にある一方で、若年層の自殺は増えている傾向があります。就労ということだけではない「生き難さ」に対して、対策を講じていく必要があります。

分野	委員	主な社会環境の変化
(7) 県土・まちづくり	藤枝委員 丸山委員 米田委員	オンラインを活用したコミュニティの形成も大事である一方、地域の高齢化や世帯の孤立化が進む中では、直接会って話し合える場を地域に広げていく必要もあります。また、コミュニティの「形成」とともに、持続していくための「充実」も記載する必要があります。
(7) 県土・まちづくり	藤枝委員	多様な担い手による協働連携を進めていく上では、様々なコミュニティの仲介役として、学びも兼ねて、県職員も活躍していく必要があります。
(7) 県土・まちづくり	海津委員	「ウ 生活に充実感を与える、魅力あふれる地域づくり」について、「くらしを取り巻く自然環境（森林・水資源や生物多様性等）の保全等」は、「海岸域」に関することも記載する必要があります。
(7) 県土・まちづくり	矢島委員	「ウ 生活に充実感を与える、魅力あふれる地域づくり」について、後段の「20年、30年先の世帯の人口構成や世帯のあり方、働き方、産業構造の変化などを予測し、都市の構造を改善していく」の記載は、前段の記載と比べて非常に重くなってしまうので、記載する項目を再検討する必要があります。
(7) 県土・まちづくり	米田委員	「ウ 生活に充実感を与える、魅力あふれる地域づくり」について、地域の活力「向上」だけでなく、これからの時代はどのように「維持」していくかを考える必要があります。
(7) 県土・まちづくり	篠崎委員	これまでは拡大基調で都市計画が進められてきましたが、人口減少社会の中でこれ以上負の遺産を蓄積することのないよう、これからは20、30年先を見据えた、身の丈に合った、持続可能な都市インフラの再構築を図っていく必要があります。
(7) 県土・まちづくり	篠崎委員	「ウ 生活に充実感を与える、魅力あふれる地域づくり」について、「くらしを取り巻く自然環境（森林・水資源や生物多様性等）の保全等」は、「保全」だけでなく「再生」も記載する必要があります。
政策推進に当たったての留意事項	原嶋委員	首都圏は、経済的にも人の流れが一体的であることから、近隣の都道府県（とりわけ東京・千葉・埼玉）との更なる連携が必要です。
全体	内田委員 小池委員	第2章「政策課題」の各「課題」は、「・・・求められます。」という表現から「・・・必要があります」という、よりポジティブな表現に修正する必要があります。
全体	外山委員	本報告書の構成について、社会・経済・環境の3つに重点を置いた理由をより明確にする必要があります。
全体	外山委員	第2章「政策課題」はよく見やすくまとまっていますが、第1章「社会環境の変化」の内容は、県民に向けて公表する際には、県民に配慮した工夫を講じる必要があります。
全体	伊達委員 矢島委員	「社会・経済・環境」の3側面から取りまとめられていますが、政策をリードしていく上で重要な「テクノロジー」など分野横断的な要素をベースとした考察も重要です。
全体	原嶋委員	現状では他県と共通の課題が多いことから、今回の報告書の次の段階で、より県の特性を捉えた課題の抽出に取り組む必要があります。
全体	矢島委員	SDGsは「経済・社会・環境」の順になっていますが、「第1章 社会環境の変化」は「社会・経済・環境」の順となっているため、順番の意味を踏まえて整理する必要があります。